

# 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 株式会社 中央倉庫  
 コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯浅 康平  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 廣次  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 大

TEL 075-313-6151

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	18,149	—	1,218	—	1,313	—	240	—
20年3月期第3四半期	18,438	3.7	1,378	△0.2	1,476	0.5	838	△1.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	12.26	—	—	—
20年3月期第3四半期	41.70	—	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円		円	銭
21年3月期第3四半期	37,192	—	31,116	—	83.3	1,578.89	—
20年3月期	38,443	—	32,111	—	83.2	1,627.65	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 30,997百万円 20年3月期 31,991百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	12.50	—	14.50	27.00
21年3月期	—	12.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	23,200	△4.6	1,530	△13.7	1,620	△14.3	410	△61.6	20.88

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 20,064,897株 20年3月期 20,064,897株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 432,610株 20年3月期 409,928株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 19,650,625株 20年3月期第3四半期 20,104,488株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報 を参照してください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	23,200	△4.8	1,490	△14.3	1,570	△14.6	380	△73.7	19	36

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国発の金融危機が実体経済にも深刻な影響を及ぼし、製造業を中心として大幅な減産、設備投資の抑制、雇用の縮小といった動きが次々と見られ、景気は急速に悪化しました。

物流業界におきましては、こうした経済動向を反映し、国内貨物では、倉庫業の入出庫高は減少しましたが、保管残高は増加傾向となり、運送業のトラック輸送量は減少しました。また、国際貨物では輸入は弱含みとなり、輸出は大幅に減少しました。一方、燃料価格の上昇は落ち着きを取り戻したものの、国内総物流量が減少するなか、競争激化の状況は続き依然として厳しい環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、平成20年5月に滋賀支店湖東PDセンターD号倉庫の建築工事に着手（完成予定平成21年3月）し、7月には東京支店茨城営業所（仮称）A号倉庫の建築工事に着手（完成予定平成21年9月）しました。また、平成20年6月に大阪支店トランクルームサービス大阪店において、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格であるISO/IEC 27001:2005の拡大認証を登録するなど業務の品質向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の営業収益は18,149百万円、営業利益は1,218百万円、経常利益は1,313百万円、四半期純利益は、通期の課税所得の見直しを行うとともに昨今の株価の動向を踏まえ、財務体質の健全化の観点から、投資有価証券評価損等に係る繰延税金資産を取崩したため、240百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 〔倉庫業〕

倉庫業におきましては、入出庫高は前年同期に比し減少し、保管残高は増加となりました。これらの結果、倉庫業の営業収益は4,486百万円、営業利益は569百万円となりました。

#### 〔運送業〕

運送業におきましては、取扱数量は前年同期に比し微減となり、営業収益は9,149百万円、営業利益は772百万円となりました。

#### 〔国際貨物取扱業〕

国際貨物取扱業におきましては、梱包業の取扱数量は前年同期に比し減少し、通関業の取扱数量は輸出貨物は減少しましたが、輸入貨物が増加し、全体としては増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は4,576百万円、営業利益は369百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,251百万円減の37,192百万円となりました。これは主に、固定資産の建設仮勘定が1,628百万円増加しましたが、流動資産の現金及び預金が1,140百万円、固定資産の建物及び構築物が580百万円及び投資有価証券が884百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ256百万円減の6,075百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれております設備関係支払手形が790百万円増加しましたが、流動負債の未払法人税等が425百万円及び固定負債の繰延税金負債が303百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ994百万円減の31,116百万円となりました。これは主に、利益剰余金が289百万円及びその他有価証券評価差額金が676百万円減少したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ、0.1ポイント増の83.3%となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動におけるキャッシュ・フローで1,052百万円の増加、投資活動におけるキャッシュ・フローで1,689百万円の減少、財務活動におけるキャッシュ・フローで503百万円の減少となり、当第3四半期連結会計期間末には3,929百万円となりました。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費による増加によるものであり、1,052百万円となりました。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得のための支出によるものであり、1,689百万円となりました。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、主に、配当金の支払いによるものであり、503百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	25,200	1,680	1,780	540	27 48
今回修正予想（B）	23,200	1,530	1,620	410	20 88
増減額（B－A）	△2,000	△150	△160	△130	－
増減率（％）	△7.9	△8.9	△9.0	△24.1	－
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	24,324	1,773	1,890	1,068	53 44

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	25,200	1,640	1,730	510	25 95
今回修正予想（B）	23,200	1,490	1,570	380	19 36
増減額（B－A）	△2,000	△150	△160	△130	－
増減率（％）	△7.9	△9.1	△9.2	△25.5	－
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	24,365	1,739	1,838	1,442	72 11

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、計画を下回る水準で推移しました。

通期の見通しにつきましては、世界経済の急速な悪化の影響を受けて、輸出の減少やそれに伴う大幅な減産等により、国内総物流量は低迷しさらなる競争激化の状況のなか、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような状況を踏まえ、通期の業績は、前回予想（平成20年11月10日発表）を下回る見込みであります。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

- ②固定資産の減価償却の方法

定率法（建物については租税特別措置法に規定する割増償却を含む）を採用している有形固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価に関する会計基準の適用

貯蔵品（梱包資材）については、従来、最終仕入原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,329,216	5,469,265
受取手形及び営業未収入金	3,369,061	3,612,771
貯蔵品	16,392	12,552
繰延税金資産	71,535	178,204
その他	494,339	402,498
貸倒引当金	△442	△820
流動資産合計	8,280,103	9,674,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,842,519	12,423,263
機械装置及び運搬具（純額）	545,513	560,153
土地	9,126,690	9,126,690
建設仮勘定	1,628,570	—
その他（純額）	119,603	131,387
有形固定資産合計	23,262,896	22,241,494
無形固定資産	26,145	27,853
投資その他の資産		
投資有価証券	5,224,407	6,108,848
その他	445,327	412,676
貸倒引当金	△46,436	△21,669
投資その他の資産合計	5,623,298	6,499,855
固定資産合計	28,912,340	28,769,203
資産合計	37,192,444	38,443,674

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,100,860	1,292,870
短期借入金	1,710,000	1,640,000
1年内返済予定の長期借入金	533,300	523,000
未払法人税等	58,413	483,783
賞与引当金	128,345	274,300
役員賞与引当金	18,000	21,500
その他	1,338,745	560,303
流動負債合計	4,887,665	4,795,757
固定負債		
長期借入金	455,100	486,000
繰延税金負債	581,287	884,785
退職給付引当金	28,657	40,359
負ののれん	9,746	12,183
その他	113,221	113,278
固定負債合計	1,188,013	1,536,606
負債合計	6,075,678	6,332,363
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	25,891,464	26,181,168
自己株式	△525,249	△503,646
株主資本合計	30,364,316	30,675,623
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	635,761	1,312,736
為替換算調整勘定	△2,785	2,990
評価・換算差額等合計	632,975	1,315,727
少数株主持分	119,473	119,959
純資産合計	31,116,765	32,111,310
負債純資産合計	37,192,444	38,443,674

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業収益	18,149,143
営業原価	16,413,127
営業総利益	1,736,016
販売費及び一般管理費	517,877
営業利益	1,218,139
営業外収益	
受取利息	4,242
受取配当金	83,748
受取家賃	8,803
負ののれん償却額	2,436
持分法による投資利益	17,205
その他	22,349
営業外収益合計	138,785
営業外費用	
支払利息	35,819
その他	7,543
営業外費用合計	43,363
経常利益	1,313,561
特別利益	
固定資産売却益	2,154
投資有価証券売却益	2
特別利益合計	2,157
特別損失	
固定資産除却損	5,035
固定資産売却損	147
投資有価証券売却損	598
投資有価証券評価損	185,791
特別損失合計	191,573
税金等調整前四半期純利益	1,124,146
法人税、住民税及び事業税	463,743
法人税等調整額	416,491
法人税等合計	880,235
少数株主利益	2,973
四半期純利益	240,936



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,124,146
減価償却費	884,581
負ののれん償却額	△2,436
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24,389
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△145,954
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△31,710
受取利息及び受取配当金	△87,991
支払利息	35,819
持分法による投資損益 (△は益)	△17,205
為替差損益 (△は益)	110
投資有価証券評価損益 (△は益)	185,791
投資有価証券売却損益 (△は益)	595
固定資産除却損	4,305
固定資産売却損益 (△は益)	△2,007
営業債権の増減額 (△は増加)	243,709
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,839
その他の資産の増減額 (△は増加)	△111,920
営業債務の増減額 (△は減少)	△192,010
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△63,070
その他の負債の増減額 (△は減少)	32,514
小計	1,874,316
利息及び配当金の受取額	91,842
利息の支払額	△35,525
法人税等の支払額	△878,041
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,052,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△400,000
定期預金の払戻による収入	400,000
有形固定資産の取得による支出	△1,116,290
有形固定資産の売却による収入	7,258
投資有価証券の取得による支出	△587,244
投資有価証券の売却による収入	9
その他	7,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,689,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	70,000
長期借入れによる収入	620,000
長期借入金の返済による支出	△640,600
自己株式の増減額 (△は増加)	△21,603
配当金の支払額	△530,313
少数株主への配当金の支払額	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△503,272

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

現金及び現金同等物に係る換算差額	△110
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,140,048
現金及び現金同等物の期首残高	5,069,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,929,216

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

項目	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物取扱業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	4,454,569	9,118,203	4,576,369	18,149,143	—	18,149,143
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	31,430	31,593	—	63,023	△63,023	—
計	4,486,000	9,149,796	4,576,369	18,212,166	△63,023	18,149,143
営業利益	569,330	772,362	369,719	1,711,412	△493,273	1,218,139

(注) 1. 事業区分は営業収益の集計区分によっております。

2. 各事業の主な業務は以下のとおりであります。

倉庫業 : 倉庫、賃貸等

運送業 : 貨物利用運送、貨物自動車運送

国際貨物取扱業 : 梱包、通関等

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

海外営業収益は、連結営業収益の10%未満であるため、海外営業収益の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 営業収益	18,438
II 営業原価	16,559
営業総利益	1,878
III 販売費及び一般管理費	500
営業利益	1,378
IV 営業外収益	135
受取利息及び受取配当金	83
持分法による投資利益	16
その他	35
V 営業外費用	37
支払利息	34
その他	3
経常利益	1,476
VI 特別利益	6
固定資産売却益	2
その他	3
VII 特別損失	6
固定資産除売却損	5
その他	0
税金等調整前四半期純利益	1,476
法人税、住民税及び事業税	586
法人税等調整額	46
少数株主利益	4
四半期純利益	838

(2) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

項目	倉庫業 (百万円)	運送業 (百万円)	国際貨物 取扱業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	4,684	9,360	4,392	18,438	—	18,438
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	31	27	—	59	△59	—
計	4,716	9,388	4,392	18,497	△59	18,438
営業費用	4,186	8,563	3,895	16,645	414	17,059
営業利益	529	824	497	1,852	△473	1,378

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

海外営業収益は、いずれも連結営業収益の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。